

データの取り扱いに関する基本方針(データポリシー)

千葉大学入江研究室

目的

この基本方針は、千葉大学入江研究室(以下「入江研究室」という。)が研究開発の成果として生成した各種のデータの取り扱いと科学的・教育的利用などについて述べるものです。

入江研究室は、地球科学に関する様々な基盤的研究開発を実施しています。加えて、得られた成果の広報・普及・啓発活動を通じ人類の持続的な発展、知識の体系化や拡大などに貢献するよう努めています。

入江研究室は多くの先端的な施設・設備・アルゴリズム等を保有し、極めて学術的価値の高いデータを生成しています。これらのデータは、人類共有の財産であり、研究・教育などの利用のために広く公開され、将来にわたって世界中で活用されることが重要です。これらの貴重なデータを長期にわたり保管し、利用しやすい形で提供することが、重要な使命の一つと考えます。

データの帰属

入江研究室の施設・設備・アルゴリズム等を利用して生成されたデータは、特別な取り決めがある場合を除き、入江研究室に帰属します。データの全部または一部を入江研究室に無断で転載することや、二次配布を行うことは、別に取り決める場合を除き、認めません。データの利用者が、データを利用し研究結果等を論文や報告書等に掲載する場合は、別に取り決める場合を除き、入江研究室のデータを利用した旨を明記することとします。

データの知的財産としての取り扱い

データには、知的財産として保護すべきものが存在します。これについては入江研究室が指定します。

データの公開

知的財産と指定されないデータの公開については以下のとおりとします。

・データの公開猶予期間

入江研究室は、データを公開するために必要な処理(補正、品質管理等)を含め、自らの研究成果(論文等)を作成するため、一定期間、優先的に使用できる権利を持ちます。その公開猶予期間終了後は速やかにそれらを公開します。

・データの提供方法

入江研究室は利用しやすい形でデータの提供を行います。また、利用者のニーズを取り入れるための仕組みを作ります。

・データの利用料

入江研究室に帰属するデータを科学的・教育的に利用する場合は、提供に関する実費を除き原則として無償とします。また、産業利用については原則として有償とし、その取り扱いに応じ適切な対価を徴収して提供します。

以上